

IEEE 仙台支部講演会（2015.11.30 開催）

「次世代インフラ維持管理用ロボットの技術開発の現状と火山災害対応ロボットの研究開発」

講師： 永谷 圭司 氏（東北大学未来科学技術共同研究センター・准教授）

講演概要：

社会インフラの老朽化や、年々リスクの高まる大規模地震や頻発する風水害等の災害といった重要目撃喫緊の課題に対し、現在、効果的な対応を可能とする技術開発ならびに、導入が求められている。そこで、国土交通省及び経済産業省は、平成 25 年 7 月に「次世代社会インフラ用ロボット開発・導入検討会」を共同設置し、重点分野に係るロボットについて、4 年後の本格導入を目指すことになった。これに伴い、NEDO は、平成 26 年度に「インフラ維持管理用ロボット技術開発」の公募を実施し、国土交通省は、平成 26 年度から 27 年度にかけて「次世代社会インフラ用ロボット」の現場検証を実施している。この枠組みの中で、東北大学コンソーシアムは、火山災害対応ロボットの研究開発を進めてきた。具体的には、火山噴火時、電動マルチロータ機による立ち入り制限区域内の調査を行い、土石流予測を可能とするシステムの実現を目指している。本講演では、日本の次世代社会インフラ用ロボット開発の現状を紹介すると共に、東北大学が進めている火山災害対応ロボットの研究開発について紹介する。